

## 平成 22 年 3 月期 第 2 四半期決算概要

平成 21 年 12 月 30 日

会 社 名 アニコム損害保険株式会社

U R L <http://www.anicom-sompo.co.jp/>

代 表 者 ( 役職名 ) 代表取締役社長 ( 氏名 ) 小森 伸昭

問合せ先責任者 ( 役職名 ) 財務経理部長 ( 氏名 ) 大久保 弘二

T E L ( 03 ) 5348-3777

( 百万円未満切捨て )

1 . 平成 22 年 3 月期第 2 四半期 ( 中間期 ) の業績 ( 平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 9 月 30 日 )

(1) 経営成績 ( % 表示は対前年中間期増減率 )

	正味収入保険料	経常利益	中間純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
21 年 9 月中間期	4,248 ( 58.7 )	52 ( - )	56 ( )
20 年 9 月中間期	2,677 ( - )	997 ( - )	1,000 ( )

	1 株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1 株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
21 年 9 月中間期	535 10	
20 年 9 月中間期	12,244 27	

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21 年 9 月中間期	8,588	3,760	43.8	35,567 45
21 年 3 月期	7,955	3,689	46.4	34,889 85

2 . その他

(1) 中間財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 ( 中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの )

会計基準等の改正に伴う変更 無  
 以外の変更 無

(2) 発行済株式数 ( 普通株式 )

期末発行済株式数 ( 自己株式を含む )	21 年 9 月中間期	105,740 株	21 年 3 月期	105,740 株
期末自己株式数	21 年 9 月中間期	- 株	21 年 3 月期	- 株
期中平均株式数 ( 中間期 )	21 年 9 月中間期	105,740 株	21 年 3 月期	82,726 株

### 3. 中間財務諸表

#### (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間会計期間末 (平成 21 年 9 月 30 日)	前事業年度 (平成 21 年 3 月 31 日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	505	442
有価証券	5,834	5,212
有形固定資産	35	33
無形固定資産	88	68
その他資産	2,122	2,199
保険業法第 113 条繰延資産	1,273	1,358
その他	848	840
繰延税金資産	3	-
資産の部合計	8,588	7,955
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	4,208	3,729
支払備金	588	523
責任準備金	3,619	3,206
その他負債	593	513
賞与引当金	24	21
特別法上の準備金	1	0
価格変動準備金	1	0
負債の部合計	4,827	4,265
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,748	3,691
資本金	4,100	4,100
資本剰余金	1,214	1,214
利益剰余金	1,565	1,622
評価・換算差額等	12	2
その他有価証券評価差額金	12	2
純資産の部合計	3,760	3,689
負債及び純資産の部合計	8,588	7,955

## (2)中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間		当中間会計期間	
	(自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)		(自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)	
経常収益	2,692		4,280	
保険引受収益	2,677		4,248	
(うち正味収入保険料)	2,677		4,248	
資産運用収益	14		31	
(うち利息及び配当金収入)	14		31	
(うち有価証券売却益)	0		0	
その他経常収益	0		0	
経常費用	3,689		4,227	
保険引受費用	2,682		2,617	
(うち正味支払保険金)	260		1,726	
(うち損害調査費)	87		161	
(うち諸手数料及び集金費)	135		250	
(うち支払備金繰入額)	201		65	
(うち責任準備金繰入額)	1,997		412	
資産運用費用	-		-	
営業費及び一般管理費	1,382		1,467	
その他経常費用	87		143	
(うち支払利息)	-		0	
保険業法第 113 条繰延額	463		-	
経常利益	997		52	
特別損失	0		1	
固定資産処分損	-		1	
特別法上の準備金繰入額	0		0	
価格変動準備金繰入額	0		0	
税引前中間純利益	997		51	
法人税及び住民税等	3		4	
法人税等調整額	-		10	
法人税等合計	-		5	
中間純利益	1,000		56	

## (3)中間株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)	当中間会計期間 (自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>		
前期末残高	3,500	4,100
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	-	-
当中間期末残高	3,500	4,100
<b>資本剰余金</b>		
前期末残高	614	1,214
当中間期変動額		
当中間期変動額合計	-	-
当中間期末残高	614	1,214
<b>利益剰余金</b>		
前期末残高	336	1,622
当中間期変動額		
中間純利益	1,000	56
当中間期変動額合計	1,000	56
当中間期末残高	1,337	1,565
<b>株主資本合計</b>		
前期末残高	3,777	3,691
当中間期変動額		
中間純利益	1,000	56
当中間期変動額合計	1,000	56
当中間期末残高	2,776	3,748
<b>評価・換算差額等</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>		
前期末残高	4	2
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期 変動額(純額)	1	15
当中間期変動額合計	1	15
当中間期末残高	2	12
<b>評価・換算差額等合計</b>		
前期末残高	4	2
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期 変動額(純額)	1	15
当中間期変動額合計	1	15
当中間期末残高	2	12
<b>純資産合計</b>		
前期末残高	3,782	3,689
当中間期変動額		
中間純利益	1,000	56
株主資本以外の項目の当中間 期変動額(純額)	1	15
当中間期変動額合計	1,002	71
当中間期末残高	2,779	3,760

## (4)中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間会計期間		当中間会計期間	
	(自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)		(自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税引前中間純利益(は損失)	997		51	
減価償却費	10		13	
支払備金の増減額(は減少)	201		65	
責任準備金の増減額(は減少)	1,997		412	
賞与引当金の増減額(は減少)	1		3	
価格変動準備金の増減額(は減少)	0		0	
利息及び配当金収入	14		31	
有価証券関係損益(は益)	0		0	
有形固定資産関係損益(は益)	-		1	
その他資産(除く投資活動関連、 財務活動関連)の増減額(は増加)	710		88	
その他負債(除く投資活動関連、 財務活動関連)の増減額(は減少)	265		76	
小計	753		682	
利息及び配当金の受取額	9		26	
法人税等の支払額	3		5	
営業活動によるキャッシュ・フロー	760		703	
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
有価証券の取得による支出	1,073		1,751	
有価証券の売却・償還による収入	800		1,149	
資産運用活動計	272		602	
(営業活動及び資産運用活動計)	(487)		(100)	
有形固定資産の取得による支出	24		37	
その他	0		0	
投資活動によるキャッシュ・フロー	298		639	
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
リース債務の返済による支出	-		0	
財務活動によるキャッシュ・フロー	-		0	
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	461		63	
現金及び現金同等物の期首残高	89		332	
現金及び現金同等物の中間会計期間末残高	551		395	

## (5)継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

4.その他の情報

(1)平成 22 年 3 月期 中間期損益状況

(単位：百万円)

区分		前中間会計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)	当中間会計期間 (自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)	比較増減	増減比(%)
経 常 損 益	保険引受収益	2,677	4,248	1,570	58.7
	(うち正味収入保険料)	( 2,677)	( 4,248)	1,570	58.7
	(うち収入積立保険料)	( - )	( - )	( - )	( - )
	保険引受費用	2,682	2,617	65	2.4
	(うち正味支払保険金)	( 260)	( 1,726)	( 1,466)	( 563.3)
	(うち損害調査費)	( 87)	( 161)	( 73)	( 84.5)
	(うち諸手数料及び集金費)	( 135)	( 250)	( 114)	( 84.7)
	(うち支払備金繰入額)	( 201)	( 65)	( 136)	( 67.5)
	(うち責任準備金繰入額)	( 1,997)	( 412)	( 1,584)	( 79.3)
	資産運用収益	14	31	16	117.1
	(うち利息及び配当金収入)	14	( 31)	( 16)	( 117.9)
	(うち有価証券売却益)	( 0)	( 0)	( 0)	( 55.8)
	資産運用費用	-	-	-	-
	(うち有価証券評価損)	( - )	( - )	( - )	( - )
(うちその他運用費用)	( - )	( - )	( - )	( - )	
営業費及び一般管理費	1,382	1,467	84	6.1	
その他経常損益	87	142	55	-	
保険業法第 113 条繰延額	463	-	463	-	
経常利益	997	52	1,050	-	
特別 損 益	特別利益	-	-	-	-
	特別損失	0	1	1	679.3
	特別損益	0	1	1	-
税引前中間純利益		997	51	1,048	-
法人税及び住民税等		3	4	1	42.5
法人税等調整額		-	10	10	-
法人税等合計		-	5	5	-
中間純利益		1,000	56	1,057	-
諸 比 率	正味損害率	13.0	44.4		
	正味事業費率	56.7	40.4		

## (2)種目別保険料・保険金

保険引受の実績は以下のとおりであります。

### 元受正味保険料（含む収入積立保険料）

区分	前中間会計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)			当中間会計期間 (自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)
ペット保険	2,677	100.0	-	4,248	100.0	58.7
合計 (うち収入積立保険料)	2,677 (-)	100.0 (-)	- (-)	4,248 (-)	100.0 (-)	58.7 (-)

### 正味収入保険料

区分	前中間会計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)			当中間会計期間 (自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)
ペット保険	2,677	100.0	-	4,248	100.0	58.7
合計 (うち収入積立保険料)	2,677 (-)	100.0 (-)	- (-)	4,248 (-)	100.0 (-)	58.7 (-)

### 正味支払保険金

区分	前中間会計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 9 月 30 日)			当中間会計期間 (自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 21 年 9 月 30 日)		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年増減 (%)
ペット保険	260	100.0	-	1,726	100.0	563.3
合計	260	100.0	-	1,726	100.0	563.3

## (3)有価証券関係

## 満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：百万円)

種類	当中間会計期間末（平成21年9月30日）			前事業年度末（平成21年3月31日）		
	中間貸借対照表 計上額	時価	差額	貸借対照表 計上額	時価	差額
公 社 債	2,212	2,241	28	2,714	2,720	5
合 計	2,212	2,241	28	2,714	2,720	5

## その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

種類	当中間会計期間末（平成21年9月30日）			前事業年度末（平成21年3月31日）		
	取得原価	中間貸借対照表 計上額	差額	取得原価	貸借対照表 計上額	差額
公 社 債	3,108	3,126	18	2,104	2,101	2
外 国 証 券	297	299	1	-	-	-
合 計	3,406	3,426	19	2,104	2,101	2

## 時価評価されていない主な有価証券の内容及び中間貸借対照表(貸借対照表)

(単位：百万円)

当中間会計期間末 (平成21年9月30日)		前事業年度末 (平成21年3月31日)	
(1)満期保有目的の債券 該当事項はありません。		(1)満期保有目的の債券 該当事項はありません。	
(2)その他有価証券		(2)その他有価証券	
株式	56	株式	56
その他	139	その他	339



#### (4)ソルベンシー・マージン比率

「ソルベンシー・マージン比率」については、以下のとおりです。

	当中間会計年度 (平成 21 年 9 月 30 日現在) (百万円)	前事業年度 (平成 21 年 3 月 31 日現在) (百万円)
(A) ソルベンシー・マージン総額	2,465	2,108
資本金又は基金等	2,103	1,904
価格変動準備金	1	0
危険準備金	-	-
異常危険準備金	342	206
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券の評価差額(税効果控除前)	17	2
土地の含み損益	-	-
払戻積立金超過額	-	-
負債性資本調達手段等	-	-
控除項目	-	-
その他	-	-
(B) リスクの合計額 {(R 1 + R 2) <sup>2</sup> +(R 3 + R 4) <sup>2</sup> } + R 5 + R 6	1,167	665
一般保険リスク ( R 1 )	1,129	643
第三分野保険の保険リスク ( R 2 )	-	-
予定利率リスク ( R 3 )	-	-
資産運用リスク ( R 4 )	65	49
経営管理リスク ( R 5 )	35	20
巨大災害リスク ( R 6 )	-	-
(C) ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B) × 1/2}] × 100	422.2%	633.3%

(注) 上記の金額及び数値は、保険業法施行規則第86条及び第87条並びに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。

なお、「資本金又は基金等」は、純資産の部の合計額から社外流出予定額、評価・換算差額等及び繰延資産を控除した額であります。

#### <ソルベンシー・マージン比率>

- ・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の予測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。
- ・こうした「通常の予測を超える危険」を示す「リスクの合計額」（上表の（B））に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（すなわちソルベンシー・マージン総額：上表の（A））の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたのが、「ソルベンシー・マージン比率」（上表の（C））であります。
- ・「通常の予測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。
  - 保険引受上の危険：保険事故の発生率等が通常の予測を超えることにより発生し得る危険（巨大災害に係る危険を除く）
  - （一般保険リスク）
  - （第三分野保険の保険リスク）
  - 予定利率上の危険：実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険
  - （予定利率リスク）
  - 資産運用上の危険：保有する有価証券等の資産の価格が通常の予測を超えて変動することにより発生し得る危険等
  - （資産運用リスク）
  - 経営管理上の危険：業務の運営上通常の予測を超えて発生し得る危険で上記～及び以外のもの
  - （経営管理リスク）
  - 巨大災害に係る危険：通常の予測を超える巨大災害（関東大震災や伊勢湾台風相当）により発生し得る危険
  - （巨大災害リスク）
- ・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（ソルベンシー・マージン総額）とは、損害保険会社の純資産（社外流出予定額等を除く）、諸準備金（価格変動準備金・異常危険準備金等）、土地の含み益の一部等の総額であります。
- ・ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。